

Telepica News

テレピカ

Vol. 13

発行：〒104-0061 東京都中央区銀座3-13-17 ニュースプランニング(株) ▲TEL03-5565-4418 FAX03-5565-4419

URL:www.telepica.co.jp E-mail:master@telepica.co.jp

● 第38回東京グラフィックスフェア盛大に閉会

印刷業必見の総合プリンティングショー「東京グラフィックスフェア」が7/12～13日の3日間開催されました。当日は延べ約106,000人の来場者があり、商売ネタへの飽くなき追求の姿勢が感じられました。弊社も新型カードプリンタ「アンカーBox」を展示し、大好評を博しました。

今回展示で感じたポイント

「紙」では食っていけない！そんな中、プラスチックカード印刷は興味深い分野であるという声が多かったこと。

MacからWindowsにユーザーシフトが起こっていること(印刷業はMacが大部分であったが、今やMac-Win混在が約9割)

制作における地殻変動 印刷会社が造るのではなく、パソコンユーザーが造り、印刷会社はただ出力するだけ(これじゃ、いつかなくなっちゃうよ!)という悲鳴が多かったこと。

などです。しかしテレピカユーザーのみなさんは全く悲観する必要はありません。アンカーシリーズはカードプリンタのオピニオンとして、一説には約20億万枚といわれているカード市場を取り込むことが出来るからです。

ここで今回の特集です。

● アンカーを使ったプラスチックカード印刷ビジネスの展開

はじめにアンカープリンタを主にテレホンカード印刷に使っておられる方は、ここで脱テレカに発想を切り替えてください(NTTテレカの話だと1997年約4億枚の発行があったテレカが毎年1/3ずつ減少しているとのこと)。そして以下の取り組みを進めてください。

1.Windows PCを導入してください(導入費用約120,000円)。社員証などのカード印刷の依頼先は全てWindowsユーザーです。書体の関係でWindows PCは必要です。

2.Windows用のMicrosoftの「Excel」「Officeシリーズ」、FileMaker社の「ファイルメーカーPro」等を購入してください。会員証等は1枚1枚印刷が異なりますので、データベースソフトが必要です(導入費用約85,000円)。

3.Adobe社の画像編集ソフトPhoto Shopがデザイン作成や顔写真の入力などに必要です(Element版で約9,800円)。

4.アンカー用のプリンタソフトnspr52Printer Driver Softを購入して下さい(約88,000円 70,000円で特別価格:2001年10月まで)。両面同時印刷など直接使用アプリケーションから印刷が出来るようになります。

以上の構成でカード印刷へ踏み込むことが出来ます。せっかく導入したカードプリンタ「アンカー」を是非、活用してください。

尚、今回弊社の顔写真入りIDカードのサンプルや印刷カタログを同封しておきます。積極的にセールしてみてください。また、いつでもお問い合わせ下さい。カード印刷作成の手順などをお伝えできると思います。

期間中(2001年10月末日まで)アンカー用のプリンタソフトnspr52Printer Driver Softをご購入いただいた方には、ファイルメーカーProベースで作った「Card Master ID」も無償で差し上げます。



グラフィックスフェアの展示風景



アンカー Box:価格は1,080,000円



MacとWindowsをLAN接続するなら、PC MACLAN(21,800円)がオススメです。



1枚1枚印刷の異なるカード印刷にはカード型データベースソフト(ex.ACCESSやFole Maker Pro)が必須ソフトです。



アキバでプリントショップを経営するTFPの澤田社長。「初めはテレホンカードをチョコチョコやっていたが、その内1枚2枚のプラスチックカードのサンプルをバラ巻いているうちに、100枚、1000枚と仕事が舞い込むようになり、今や大口カードも取れるようになった。カードは一度作ると長い付き合いになり、紹介で色々話がある。ユーザーの皆さんもカードを面倒がらずに作ってみて、頑張ってください。」